

平成 30 年 11 月 16 日

平成 30 年度アーバンデザインスクール前期第 5 回実績報告書

1. 前期第 5 回概要

(1) 開催日時

平成 30 年 10 月 27 日（土） 10 時 30 分から 12 時 30 分

参加人数：21 名

(2) テーマ

ワークショップ「歩いて巡りたくなる地域」のアイデア

(3) 話題提供者

藤井健史（立命館大学理工学部助教）

(4) ワークショップの概要

- 第 5 回は、「ワークショップ「歩いて巡りたくなる地域」のアイデア」と題して、立命館大学理工学部助教の藤井健史氏にファシリテーターをお願いした。
- 冒頭、今期のスクールのコーディネーターである及川センター長から、過去 4 回について簡単に解説いただいた。
 - シリーズ「歩いて巡る地域の魅力の伝え方」として、地域の魅力を構成する要素をカルチャー、ストラクチャー、ストーリー、ストリート、プレイスの 5 つとし、それぞれをテーマにしたレクチャーを企画した。
 - 第 1 回は「草津の歴史と自然（カルチャー）」をテーマに草津市教育委員会文化財保護課の馬場氏に話題提供をお願いした。草津は都に近く、琵琶湖も重要な交通路であったこと、日本仏教の中心ともいえる比叡山の対岸にあったことから、それぞれの時代を象徴する有形無形の文化財があることを学んだ。
 - 第 2 回は「草津市の歴史的建造物（ストラクチャー）」をテーマに立命館大学理工学部准教授の青柳憲昌氏に話題提供をお願いした。特に草津市の常盤地区は対岸に比叡山もあったことから、神社仏閣などの歴史的建築が多い地域であること、様式も前室付三間社流造など独特のものがああり、修復などの際は伝統を守りつつ、その時代の流行を取り入れていることを学んだ。
 - 第 3 回は「地域文化のストーリーのつくりかた（ストーリー）」をテーマに東洋大学大学院国際観光学部客員教授の丁野朗氏に話題提供をお願いした。歴史的遺産を巡るには、その遺産が最も隆盛していた時代を踏まえつつも現在から未来につながるストーリーが必要であることを全国各地の事例から学ん

だ。

- 第4回は「快適に歩ける歩行空間（ストリート、プレイス）」をテーマに成安造形大学芸術学部地域実践領域准教授、附属近江学研究所研究員の石川亮氏に話題提供をお願いした。「東海道統一案内看板制作プロジェクト」の試みと「近江の懐」の取材から、ストリートとプレイスの事例を紹介いただいた。
- 第5回は過去4回を踏まえ、立命館大学理工学部助教の藤井先生にファシリテーターをお願いして「歩いて巡りたくなる地域」のアイデアを市民と学生と一緒に考えるワークショップを開催する。
- 藤井先生より草津市内ではエリアが広いことから、ワークショップのテーマを「発見！常盤地区の歴史・自然・文化を巡る〇〇の道」とし、常盤地区に絞り、アイデアを検討することとした。常盤地区に絞った理由として、神社仏閣などの有形文化財が多いこと、第2回のスクールで青柳先生から歴史的建築について詳細な説明を受けたことが挙げられた。そして、このワークショップの前に、先生と学生のみなさんが歩いたコースを動画で紹介いただいた。
 - ワークショップの進め方について。


6つのグループに分かれ、事前に常盤地区を歩いた学生をグループに配置し、学生と市民が可能な限り同数となるようグループ分けをした。テーブルには、常盤地区の地図と代表的なスポットのカードが配布され、次の5つのポイントを踏まえ、検討した。

 - ◇ 地図に記されているスポットを繋ぎながら巡るウォーキング/サイクリングコースを提案してください！
 - ◇ コースにテーマ・ストーリーを込めて名前を付けてください！
 - ◇ コースをより楽しむためのハード/ソフト両面のアイデアも！
 - ◇ 各班2コースの発見を目標に！
 - ◇ 現実的でなくてもOK！おもしろい、夢のあるアイデアを！

(5) ワークショップ

ワークショップでは6グループ各2コース合計12コースを考えた。

班	No.	コース名	No.	コース名
1	1	現在、過去、未来 水の道クネクネ	2	みんなでつくる生きもの図鑑
2	3	芦浦観音寺特別拝観マラソン	4	恋人の聖地♡デートコース
3	5	時代・歴史を学べるコース	6	湖岸魅力発見コース
4	7	だれにでもやさしい歴史街道	8	立命建築オタク学生が案内する 社寺巡りコース
5	9	太陽追っかけコース	10	キャラクター追っかけコース
6	11	雷おちないコース	12	だんごもぐもぐコース

コース名	現在、過去、未来 水の道クネクネ
概要	旧志那港の辺りは昭和 30 年代頃まで水郷の街であった。今は、水路は埋め立てられ、道路になってしまったが、VR（バーチャルリアリティ）で水路のある街並を再現し、志那神社から御旅所まで水路を使い、舟で嫁入りする風景を体験。御旅所からは新たに整備する船に乗り、琵琶湖から閘門を使い、昔は真珠養殖が盛んだった平湖で VR 真珠養殖体験。再び閘門から琵琶湖にでて、昔は手づかみでモロコが取れた様子を VR 体験。その後、新たに整備する水路を使い、船で穴村町に。そこから大萱神社、宝光寺を巡り、昔、墨灸で繁盛したあなむら診療所まで歩くコース。診療所には疲れを癒す施設を整備する。
マップ	青線のコース
	
ルート	志那神社（徒歩）蓮海寺（船）琵琶湖（船）閘門・平湖（船）閘門・琵琶湖（船）穴村町付近（徒歩）大萱神社・宝光寺（徒歩）あなむら診療所
ソフト	昔の水辺の暮らしを体験できる VR アプリ
ハード	新たな観光航路（船着き場、水路など）、あなむらの休息施設

コース名	みんなで作る生きもの図鑑
概要	神社にある鎮守の森にはたくさんの生き物が棲んでいる。そこで、老杉神社、三大神社、志那神社の三つの神社の鎮守の森を巡り、そこに棲息する生き物図鑑をみんなで作る。生き物は季節により違うのでリピートと通年利用が期待できる。またこの三つの神社は無形文化財のサンヤレ踊りの場所でもある。サンヤレ踊りは毎年5月3日の一日だけのため、装束などを貸し出し、VRでサンヤレ踊りを体験できるようにする。移動は徒歩、自転車であるが、徒歩の場合は田園風景が楽しめる。

マップ 赤線のコース



ルート	老杉神社（徒歩・自転車）三大神社（徒歩・自転車）志那神社
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・見つけた生き物の写真などをアップロードするアプリ。 ・サンヤレ踊りを体験できる VR ・土日祝日などは昆虫博士、植物博士がガイド
ハード	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物観察に必要な道具を買えるお店 ・サンヤレ踊りを体験できる装束を貸し出す施設

コース名	芦浦観音寺特別拝観マラソン
概要	現在、芦浦観音寺は春秋2回一般公開を実施している。芦浦観音寺は「琵琶湖とその水辺景観 - 祈りと暮らしの水遺産」として日本遺産に登録されている。志那町の琵琶湖湖岸から、同じく日本遺産に登録されたサンヤレ踊りの舞台である志那神社、三大神社など常盤の神社を巡り、芦浦観音寺まで走るイベントを秋の一般公開に合わせ、実施する。各神社には給水ポイントを設け、神様と地元の人との交流を図る。スピードを競い合うのではなく、祈りと暮らしを体験してもらうマラソン大会とする
マップ ピンク線のコース	
	
ルート	湖岸緑地（走）志那神社（走）三大神社（走）大萱神社（走）総社神社（走）常盤市民センター（大会本部・炊き出し）（走）印岐志呂神社（走）芦浦観音寺
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・芦浦観音寺拝観 ・給水ポイントや曲がり角などに地域の人のおもてなし
ハード	<ul style="list-style-type: none"> ・給水ポイント（各神社）、炊き出しポイント（市民センター）

コース名	恋人の聖地♡デートコース
概要	花々が芽吹き始める5月に新たな恋人伝説を生み出すイベントを実施する。特に5月3日は老杉神社、三大神社、志那神社ではサンヤレ踊りが行われる。その中でも三大神社は藤の名勝でもある。吉田家をカフェに改装し、縁側で素敵な庭を見ながら、愛を語り、これらの場所を巡りながら、最終地点の千蓮美那の池に着くころには綺麗な夕陽が落ちる時間帯に。そこで、夕陽をうけ、二人は結ばれ、ここから新たな恋人伝説が始まる。

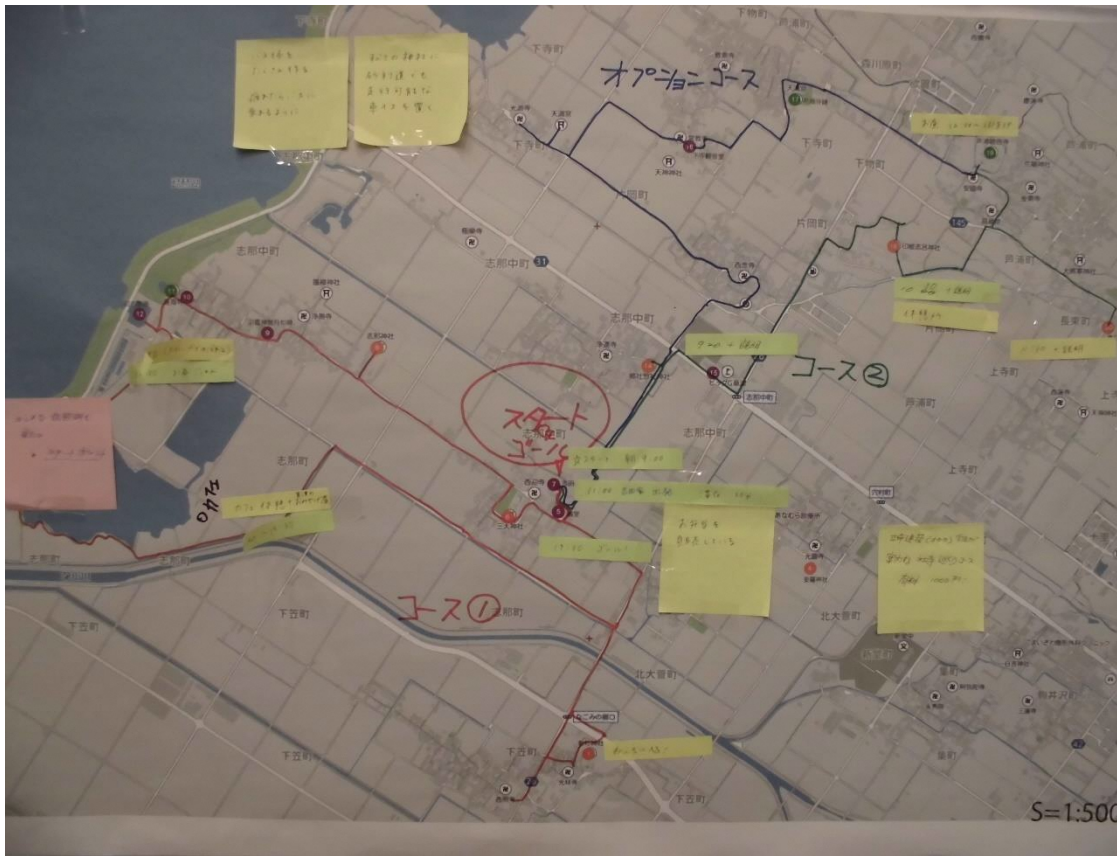
マップ 青線のコース



ルート	老杉神社（徒歩）吉田家（徒歩）三大神社（徒歩）志那神社（徒歩）蓮海寺（徒歩）千蓮美那の池
ソフト	・恋人伝説を生み出す仕掛け
ハード	・吉田家のカフェに改装し、

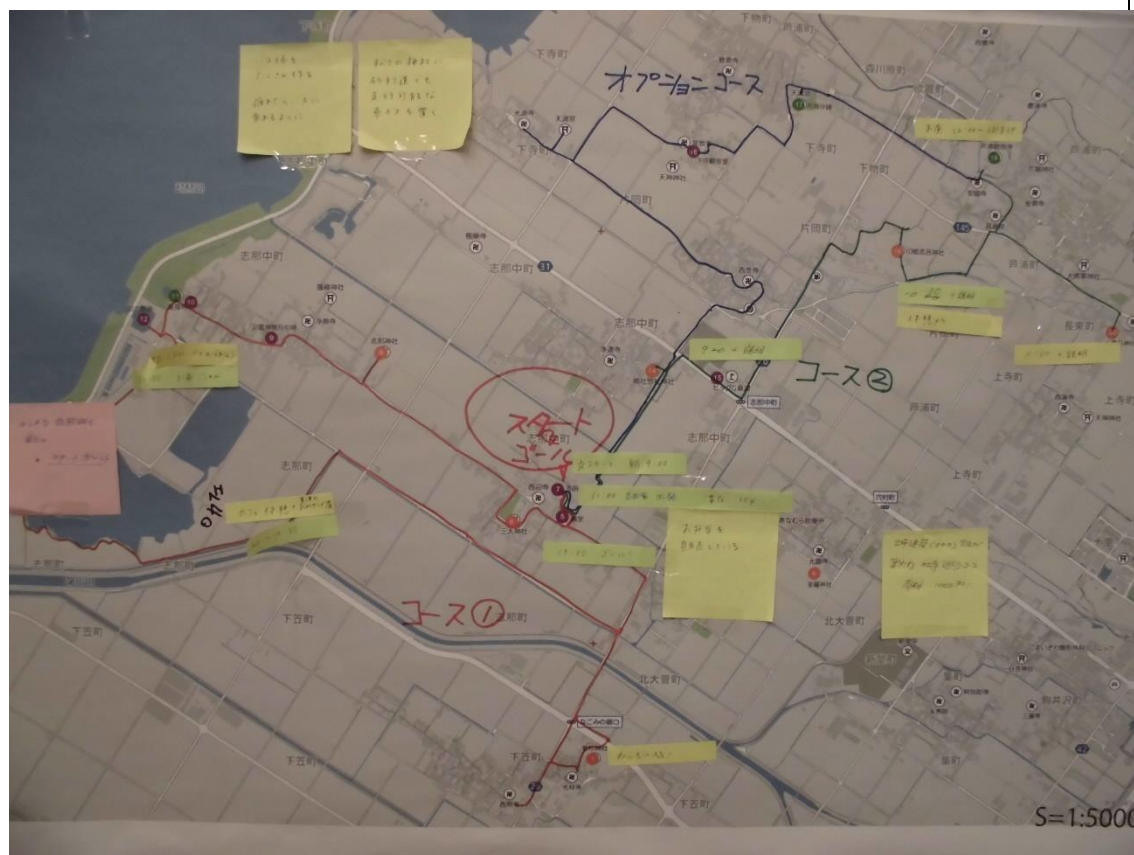
コース名	時代・歴史を学べるコース
概要	常盤地区の神社仏閣などの築年は 600～700 年代と 1500～1600 年代に大きく分かれる。このコースでは、吉田家を拠点に南北のエリアに分け、それぞれ建築物と歴史との関係を知り、建築様式の違いと共通点を知る。
マップ 赤線のコース	
	
ルート	北エリア：吉田家（徒歩）三大神社（徒歩）総社神社（徒歩）印岐志呂神社（徒歩）春日神社（徒歩）吉田家 南エリア：吉田家（徒歩）橘堂（徒歩）宝光寺・大萱神社（徒歩）安羅神社（徒歩）老杉神社（徒歩）吉田家
ソフト	・ガイド、ガイドブック
ハード	-

コース名	湖岸魅力発見コース
概要	湖岸緑地を拠点に、現地の水産物を味わいながら、真珠養殖やボート体験などの魅力を発見する散歩コース。
マップ 青線のコース	
	
ルート	新設する道の駅（カフェ）を拠点に周辺の歴史的建築を巡る。 旧志那港、平湖、宗鑑元朝句碑、宗鑑神無月句碑
ソフト	ガイドブック
ハード	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅（カフェ） ・ボート乗り場 ・真珠養殖体験施設

コース名	だれにでもやさしい歴史街道
概要	車イスなどを使用する体の不自由な方でも1日楽しめるコース。砂利でも走行できる車イスを各所に設置、新設の展望台やカフェなどはスロープにするなどのユニバーサルデザインを採用、バス停が各所にあり、すべてノンステップバス対応とする。
マップ 赤線のコース	
	
ルート	吉田家（お弁当を買う）（徒歩・車イス） 橘堂（徒歩・車イス） 三大神社（徒歩・車イス） 志那神社（徒歩・車イス） 宗鑑神無月句碑（徒歩・車イス） 蓮海寺（徒歩・車イス） 旧志那港・新設の展望台（徒歩・車イス） 平湖（徒歩・車イス） 新設カフェ（徒歩・車イス） 西照寺・光林寺（徒歩・車イス） なごみの郷
ソフト	体の不自由な人に配慮したおもてなし
ハード	<ul style="list-style-type: none"> ・旧志那港の展望台 ・平湖のカフェ、お土産屋 ・車いす設置場所 ・ノンステップバス停 など

コース名	立命建築オタク学生が案内する社寺巡りコース
概要	常盤地区には歴史的建築が多いことから、立命館大学で建築を学ぶ学生による解説付きのツアーを企画する。主な対象はシニア世代とし、有料（1000円）で行う。各場所で10分ほどの学生による解説あり。半日コースであるが、希望すれば午後からオプションコースにも参加できる。

マップ 緑線と青線のコース



ルート	<p>緑：吉田家（徒歩）総社神社（徒歩）宗鑑蛙句碑（徒歩）印岐志呂神社（徒歩）春日神社（徒歩）芦浦観音寺</p> <p>青（オプション）：芦浦観音寺（徒歩）花摘寺跡（徒歩）下寺観音寺（徒歩）天満宮・光源寺</p>
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・建築科学生ガイド ・ガイドブック
ハード	-

コース名	太陽追っかけコース
概要	15 時頃から老杉神社をスタートし、沈む太陽を追っかけながら、歴史的建築を巡り、湖岸に向けて走り、蓮海寺で夕焼けを見るコース。

マップ 青線のコース




ルート	老杉神社（自転車）大萱神社（自転車）宝光寺（自転車）安羅神社（自転車）宗鑑蛙句碑（自転車）総社神社（自転車）橘堂（自転車）吉田家（自転車）旧志那港（自転車）蓮海寺（自転車）宗鑑元朝句碑
ソフト	・自転車マップ
ハード	・各拠点に自転車置き場 ・吉田家にカフェ

コース名	キャラクター追っかけコース
概要	吉田家を起点に北にある芦浦観音寺、印岐志呂神社、春日神社などを結ぶエリアの歴史建造物にあったキャラクターをデザインし、自転車で巡るコース。

マップ 緑線のコース



ルート	吉田家（自転車）橘堂（自転車）総社神社（自転車）下寺観音堂（自転車）芦浦観音寺（自転車）（春日神社（自転車））印岐志呂神社
ソフト	・ 歴史的建築にあったキャラクターのデザインとグッズ
ハード	・ 自転車置き場 ・ 撮影スポットなどの整備

コース名	雷おちないコース
概要	<p>浜街道の西側にある歴史的建築を巡るコース。</p> <p>常盤は古くから雷に関する伝説が多い地区である。</p> <p>浜街道沿いのバス停を始点終点とし、雷除け伝説のある地藏堂や最澄が一本の大木から三軀を刻んだという菩薩がある蓮海寺、極楽寺、滋賀県の自由民権運動の拠点であった西念寺を回るコースである。</p>
マップ 青線のコース	
	
ルート	<p>大萱バス停（徒歩）橘堂（徒歩）吉田家（徒歩）三大神社（徒歩）志那神社（徒歩）宗鑑神無月句碑（徒歩）蓮海寺（徒歩）穴村港（徒歩）極楽寺（徒歩）浄運寺（徒歩）総社神社（徒歩）西念寺（徒歩）下寺観音堂（徒歩）花摘寺（太子堂）（徒歩）芦浦バス停</p>
ソフト	-
ハード	-

コース名	だんごもぐもぐコース
概要	<p>浜街道沿いのバス停を始点終点に浜街道の東側にある歴史的建築を巡るコース。</p> <p>東側には昭和の初めに墨灸で有名で、「もんもん」と呼ばれた診療所の近くにある今も営業している草木だんご屋さんのほか、安羅神社、春日神社、印岐志呂神社などを巡る。</p>

マップ 赤線のコース



ルート	大萱バス停（徒歩）大萱神社・宝光寺（徒歩）あなむら診療所（草木だんご）（徒歩）安羅神社（徒歩）
ソフト	-
ハード	-

(6) まとめ

平成 30 年度アーバンデザインスクール前期は、及川センター長に全体をコーディネートいただきました。5 回シリーズとして体系化しつつも各回のみでの参加でも充実した内容の講座となりました。

今回の第 5 回においても、過去の講座で得た知識と市民のみなさんの生活感覚、そして、ワークショップの前に現地を歩いた学生の経験が融合し、個性的な 1 2 コースのアイデアの提案がありました。

まちづくりには、よそ者や若者とこだわりのもつ人が必要と言われますが、まさしくこの三者が集まり、作り上げたコースでした。1 2 のアイデアの中にはすぐにできるものもありますが、一方で、水路やカフェを作るなど時間がかかるものもあります。しかし、時間がかかるものについても、例えばカフェの場合、期間限定でキッチンカーを設置するなどの社会実験も考えることができますので、次年度以降も引き続きこのアイデアが実現できるような場を作っていきたいと考えています。

UDCBK では、様々な人々が自由に気軽に話し合い、いろいろなアイデアを出し合う場です。今回はワークショップという場でしたが、理想的なかたちに近づきつつあるように感じました。このような活動が UDCBK の日常の場でも自然に自発的に発生するような場づくりを今後も続けていきたいと考えています。

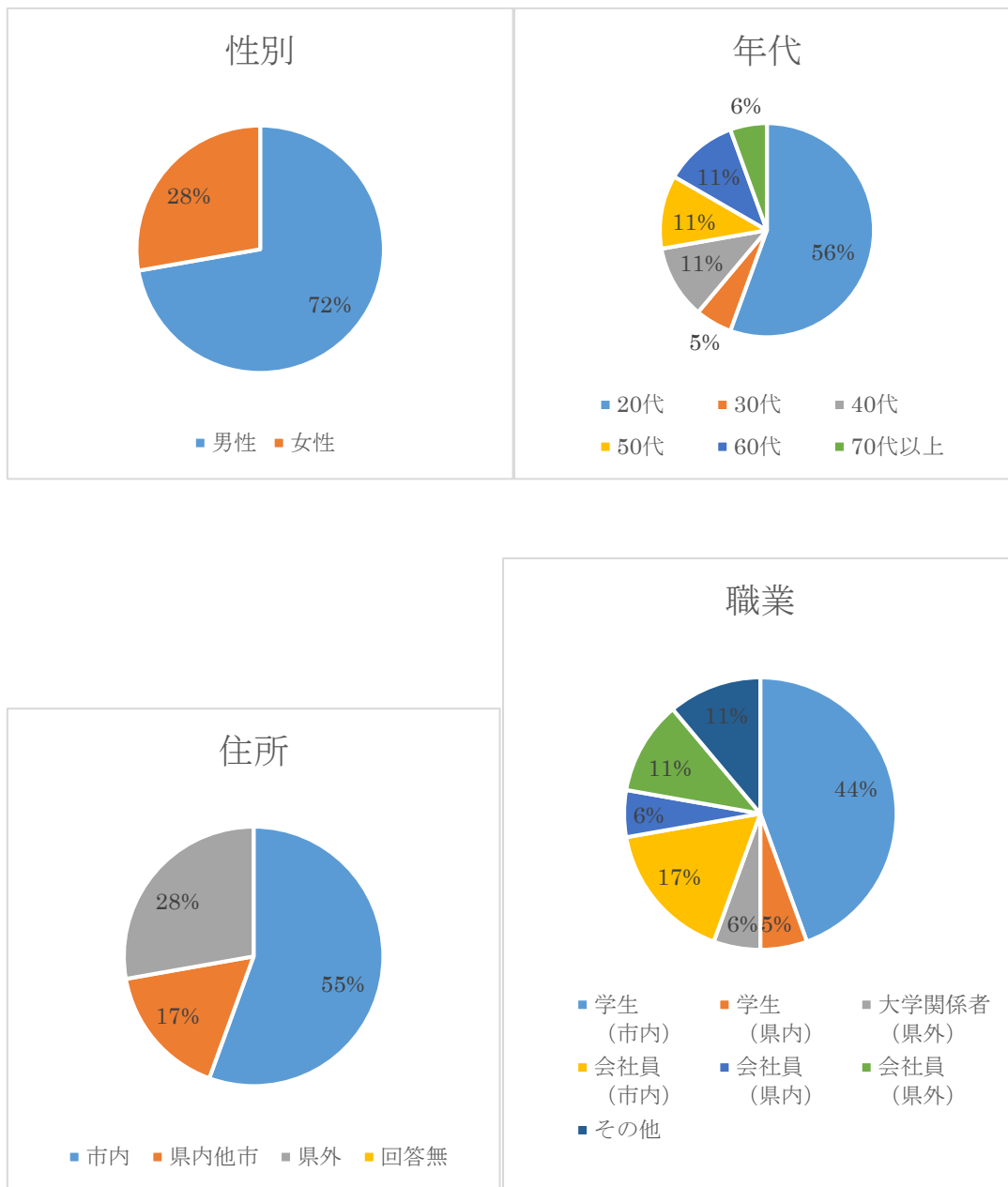
アーバンデザインスクールでは全 5 回のうち、3 回以上出席された方に修了証を授与しています。今回は 14 名の方が 3 回以上出席されました。当日、参加した方には今回の全体コーディネーターでもあり、UDCBK センター長である及川先生から修了証を授与させていただきました。修了した方々には、これからの草津の活動を支えていただくことを期待しています。

なお、当日欠席で 3 回以上出席された方は UDCBK にお越しいただければ修了証をお渡ししますので、スタッフまでお声掛けいただければ幸いです。

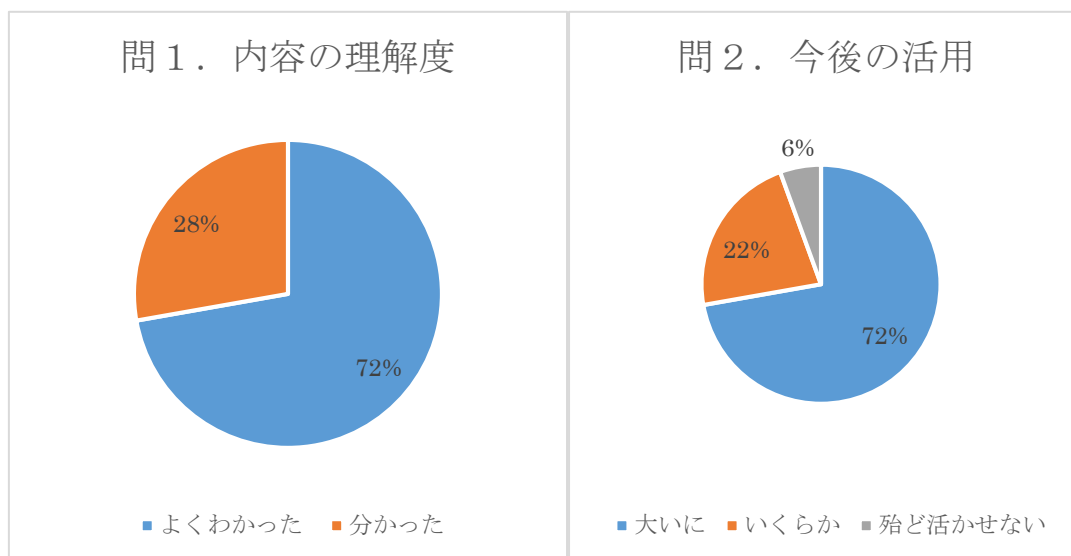
(7) アンケートまとめ

① 参加者属性

参加者 21 名のうち、アンケートに回答いただいた方は 18 名、回答率は 86 % でした。



② 内容について



③ 内容に関する自由記述

- 机上だけでなく、実際にプロジェクトとして活動できる環境までできると良い。
- 地域の歴史文化財を活用し、地域コミュニティをつくるようなまちづくりができたらいと思います。
- 「ウォーキング/サイクリングコース」というテーマに対して、これだけ様々なアイデアが出るんだな、というのがおもしろかったです。学生さんとワイワイ楽しくできてよかったです。
- VRで水くらし体験 非日常的だから。
- 普段あまり話ができない学生の方々とワークショップができたのが良かった。
- チームの方と色々な意見をだしあって、コースを考えることが出来、印象に残りました。
- 町や寺院の歴史について詳しく知っていらっしゃる年配の方のお話を聞くと面白い発見が多かったので、それを今の世代に伝える事が大切だと思いました。
- 地域の歴史に詳しい方が参加されていて、とても勉強になりました。このような方々がもっと集まれるようなことができれば良いですね。
- 草津市に住んでいるのに知らないことばかりで勉強になりました。今度ゆっくり自分たちの考えたコースを歩いてみたいです。
- 神社や寺のコースマップ作りは初めての経験だったので、楽しく行えたが、意外に難しく考えるのに理由や魅力付けに苦勞した。
- 参加者の方からいろいろおそわりました。若い人の感性も、楽しかったです。

以上